

帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録
(概要)

会議名 令和2年度第1回帯広市廃棄物減量等推進審議会

日時 令和2年7月8日(水)から令和2年7月17日(金)まで

会場 書面開催

出席委員 及川令穂委員、岡田美恵委員、梶原一生委員、兼子賢委員、
上谷素子委員、木川博史委員、清川透子委員、齊藤雅俊委員、
佐藤真理恵委員、高田眞紀子委員、高山なぎさ委員、
谷田遥香委員、中村浩和委員、牧村大造委員、松村幹了委員、
水上秀子委員、山本逸委員、渡邊芳之委員(18名)

事務局 都市環境部環境室清掃事業課

- 議事
- (1) 令和2年度清掃関連予算と主要事業について
 - (2) 資源ごみ持ち去り禁止条例化に関する検討について
 - (3) 今後の審議予定
 - (4) その他
 - ①帯広市一般廃棄物処理基本計画(令和2年度～令和11年度)
 - ②令和2年度帯広市一般廃棄物処理実施計画

会議内容 意見等の概要とそれぞれに対する市の考え方

(1) 令和2年度清掃関連予算と主要事業について

意見の概要	市の考え方
啓発事業が中止になり、大変残念だが、帯広市一般廃棄物処理基本計画の基本方針1「ごみの発生抑制」がもっとも大切な取り組みと思う。目標達成のため新たな取り組みとして、家庭でできる生ごみ減量の取り組み「30・10運動」、フードバンクや子ども食堂への食品寄付、食品ロス削減などを啓発事業で周知していくとよいのではないか。	ご意見の趣旨を踏まえ、様々な手法で市民周知・啓発に努めてまいります。

(2) 資源ごみ持ち去りについて

意見の概要	市の考え方
<p>条例化を検討するのはよいが、条例を制定するだけではなく、市民周知と持ち去り行為があった時の通報に対応できる体制をしっかりと作ることが大事。</p> <p>口頭指導や禁止命令書など実効ある指導を行うことが必要。</p> <p>また、資源ごみは町内会等の集団資源回収を利用するよう周知・お願いすることも大事なので、一緒に進める事が必要。</p>	<p>ご意見のとおり、実効性のある取組を検討するとともに、資源集団回収制度の周知に努めてまいります。</p>

(3) 今後の審議予定について

意見の概要	市の考え方
(なし)	(なし)

(4) その他

①「帯広市一般廃棄物処理基本計画（令和2年度～令和11年度）」について

意見の概要	市の考え方
(なし)	(なし)

②「令和2年度帯広市一般廃棄物処理実施計画」について

意見の概要	市の考え方
<p>家庭での生ごみ減量の取り組みを市のホームページに掲載すること。具体的に「3キリ運動」「エコレシピ」等、家庭で出来る様々な工夫を解りやすく紹介する。</p> <p>一人一日あたりごみ排出量の目標800g、一人一日あたり家庭ごみ排出量350gを実現するために、どのような行動で減らすことができるのか広報する。</p> <p>例えば、3キリ運動で生ごみから水を絞る（-50g）、野菜の皮も料理して食べる（-50g）合計100gなど。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、ごみの発生抑制の目標達成に向けて、具体的な取り組みを市ホームページに掲載する等、わかりやすい市民周知・啓発に努めてまいります。</p>